

施工体制台帳及び 協力業者労務安全関係提出書類

記入例

工事を担当するにあたり下記の書類を作業所へ一部ご提出
下さい。

尚、変更のあるときは速やかに再提出して下さい。

目次

1. 施工体制台帳作成建設工事の通知 施工体制台帳作成建設工事の通知
2. 労務安全衛生管理に関する誓約書
3. 施工体制台帳 施工体制台帳様式
4. 建設業法・雇用改善法に基づく届出書（変更届） 統一様式第1号-甲
5. 外国人建設就労者建設現場入場届出書 統一様式第1号-甲別紙
6. 下請負業者編成表 統一様式第1号-乙
7. 作業員名簿 労務・安全様式第1号
8. 持込機械等（移動式クレーン
車輜系建設機械等） 労務・安全様式第2号
9. 持込機械等（電動工具等）
電気溶接機等） 労務・安全様式第3号
10. 工事用車輜届 労務・安全様式第4号
11. 危険物・有害物持込使用届 労務・安全様式第5号
12. 火気使用申請書 労務・安全様式第6号
13. 雇入時等教育実施報告書 労務・安全様式第7号

協力会社名：

株式会社 ○○建設

下請負業者の皆さんへ

【元請負業者】

会社名 株式会社 小薬建設

事業所名 ○×○×工事

作業所

施工体制台帳作成建設工事の通知

当工事は、建設業法（昭和24年法律第100号）第24条の7に基づく施工体制台帳の作成を要する建設工事です。

この建設工事に従事する下請負業者の方は、一次、二次等の層次を問わず、その請け負った建設工事を他の建設業を営む者（建設業の許可を受けていない者を含みます。）に請け負わせたときは、速やかに次の手続きを実施して下さい。

なお、一度提出いただいた事項や書類に変更が生じたときも、遅滞なく、変更の年月日を付記して再提出しなければなりません。

①再下請負通知書の提出

建設業法第24条の7第2項の規定により、遅滞なく、建設業法施行規則（昭和24年建設省令第14号）第14条の4に規定する再下請負通知書により、自社の建設業登録や主任技術者等の選任状況及び再下請負契約がある場合はその状況を、直近上位の注文者を通じて元請負業者に報告されるようお願いいたします。

一次下請負業者の方は、後次の下請負業者から提出される再下請負通知をとりまとめ、下請負業者編成表とともに提出して下さい。

②再下請負業者にたいする通知

他に下請負を行わせる場合は、この書面を複写し交付して、「もしさらに他の者に工事を請け負わせたときは、『再下請負通知書』を提出するとともに、関係する後次の下請負業者に対してこの書面の写しの交付が必要である」旨を伝えなければなりません。

なお、当工事の概要は次の通りですが、不明の点は下記の担当者に照会ください。

提出先	株式会社 小薬建設
担当者	安全 一郎

※元請負業者（作業所長等）は、必要事項を記入し下請負業者へ通知すること

提出日とする日付	
----------	--

元請	郵便番号	308-0805	
	住所	茨城県筑西市稲野辺45	
	会社名	株式会社 小薬建設	
	代表者名	代表取締役 小薬 拓巳	
契約	元請契約	名称	本社
		住所	
	下請契約	名称	
		住所	
発注者	発注者名	茨城県○○○事務所	
	郵便番号	○○○-○○○	
	住所	茨城県○○市○○○	
	発注者の監督員	○○○○	
該当工事に関する元請の事項	事業所の名称（工事名）	○×○×工事	
	工事内容	建築一式工事	
	元請の監督員	安全 一郎	
	現場代理人名	安全 一郎	
	作業所長名	安全 一郎	
	監理技術者名	安全 二郎	
	監理技術者（専任・非専任の別）	専任	
	監理技術者資格内容	一級建築施工管理技士	
	施主との契約日	○○年○○月○○日	
	工期（自）	○○年○○月○○日	
工期（至）	○○年○○月○○日		

記入例

日付は必ず記入

事業所の名称 〇×〇×工事 所在地 茨城県〇〇市××-×
所長名 安全 一郎 会社名 株式会社〇〇建設
代表者 筑西 一郎 **社** 印
印
小薬建設の現場名と
工事責任者名を記入

労務安全衛生管理に関する誓約書

貴社の発注に係る工事の施工にあたり、労働基準法、労働安全衛生法その他施工上関連する法令を遵守し、貴社の安全施工に関する諸対策の指示に従い、積極的に協力することを誓約いたします。特に下記事項に関しては、周知徹底させ、必要な措置を行うことを併せて誓約いたします。

記

1. 労務管理

- (1) 事業場の開設時提出すべき書類は整備し、即時提出いたします。
- (2) 労働基準法、労働安全衛生法等に基づく関係書類を整備し、事業場に備え付けます。
- (3) 賃金の支払いに関しては、絶対に問題を起こさないようにします。万一下請に賃金不払等が起きた場合には、責任をもって解決し、貴社には迷惑をかけません。
- (4) 従業員の福利厚生向上のため、社会保険の加入を図ります。建設業退職金共済制度にも加入の促進を図ります。
- (5) 業務上災害発生の場合は、遅滞なく法に定められた手続きをとります。
- (6) 業務上災害発生の場合は、3日以内の休業補償費は当社にて負担します。

2. 安全管理

- (1) 労働基準法、労働安全衛生法等に基づいた各関係責任者を選任し、管理体制を確立します。
- (2) 毎月行われる安全衛生協議会に参加し、決定事項については関係者に周知徹底を図ります。
- (3) 毎日行われる工事打ち合わせに参加し、連絡調整を行います。
- (4) 免許、技能講習等の資格を要する業務には、必ず有資格者をつかさせます。
- (5) 安全衛生教育を自主的に実施します。
①雇入時教育 ②作業内容変更時教育 ③特別教育 ④職長教育 ⑤能力向上教育
⑥新規入場者教育
- (6) 当社の持込機械、器具、車両は、法令で定められた構造規格を保持し、安全を確認した上で使用します。また持込時には必ず点検表により点検を行い、持込機械届使用届を提出し、貴社の安全性の確認を受けた上で使用を開始すると共に、日常及び定期の点検整備を実施します。
- (7) 再下請業者（2次以降）を使用する場合はそれぞれの請負契約を書面をもって締結します。
- (8) 再下請業者（2次以降）を使用する場合、前項までの事項の措置を行わせると共に、雇用契約書、出勤表、賃金台帳を確認します。
- (9) 作業所で働く者のうち、労働者でない者（一人親方及び中小事業主）については、労災保険法による特別加入制度を利用した労災保険の加入の有無を確認し、未加入者は加入させます。
- (10) 毎日、作業終了後、当日の災害の有無を「危険予知活動報告書」の提出により報告します。
- (11) 事故、災害及び法令の違反などが起こり、当社に過失がある時は、損害金、補償金など所定の費用は一切負担することはもちろんのこと、貴社の規則等に定められた処置に服します。二次以下の下請の行為による場合も同様とします。
- (12) その他、労働災害防止のために貴作業所の規律を守るとともに、自主点検を実施し、各関係業者相互の協調に努めます。

3. 衛生管理

- (1) 健康診断は法、規則で定められた種類、頻度、検査項目を確実に実行します。
①雇入時 ②定期 ③特殊 ④給食従事者に対する検便
⑤特定業務従事者への配置換えの際及び定期検診
- (2) 健康診断の結果、異常の所見があると診断された者に対する就業上の措置を確実に行います。
- (3) 再下請業者（2次以降）を使用する場合においても上記の内容と同一の措置を行います。

以 上

施工体制台帳 (元請事業者用)

記入例

[会社名] 株式会社 小葉建設

[事業所名] ○×○×工事 作業所

建設業の許可	許可業種	許可番号	許可(更新)年月日
	土・建・大・左・と 石・屋・電・鋼・筋 舗・板・ガ・塗・防 内・具・水	茨城県知事 特定 第830号	2015 年 3 月 16 日

工事名称 工事内容	○×○×工事 建築一式工事		
発注者名 住所	茨城県○○○事務所 〒○○○-○○○○ 茨城県○○市○○○		
工期	自至 ○○年○○月○○日 ○○年○○月○○日	契約日	○○年○○月○○日

契約営業所	区分	名称	住所
	元請契約	本社	茨城県筑西市稲野辺45
	下請契約		

健康保険等の加入状況	保険加入の有無	健康保険		厚生年金保険		雇用保険	
		加入	加入	加入	加入	加入	加入
	事業所整理記号等	区分	営業所の名称	健康保険	厚生年金保険	雇用保険	
	元請契約	本社	51-コイ00382	51-コイ00382	0803-000142-0		
	下請契約						

発注者の監督員名	○○○○	権限及び意見申出方法	契約書記載のとおり
----------	------	------------	-----------

監督員名	安全 一郎	権限及び意見申出方法	契約書記載のとおり
------	-------	------------	-----------

現場代理人名	安全 一郎	権限及び意見申出方法	契約書記載のとおり
--------	-------	------------	-----------

監理技術者名	安全 二郎	資格内容	専任 一級建築施工管理技士
--------	-------	------	---------------

専門技術者名	資格内容		担当工事内容	

(記入要領) 1. この様式は元請が作成し、一次下請負業者を通じて報告される再下請負通知書(様式第1号-甲)を添付することにより、一次下請負業者別の施工台帳

2. 上記の記載事項が発注者とのことのできる。

3. 監理技術者の配置状況について

4. 専門技術者には、土木・建築記載する。(当社は専門工

5. 監理技術者及び専門技術者に

①資格を証するものの写し

②自社従業員である証明書類の

外国人建設就労者とは技能実習を終えた外国人が改めて日本で建設作業員として従事する者となります。

外国人技能実習生とは技能・技術等の開発途上国への移転等を目的に企業単独型(イ)及び団体監理型(ロ)の2種類の受入れ形態に分かれています。上記に該当しない外国人労働者についてはこの用紙に記入する必要はありません。

***外国人を当社現場で就労させる場合、雇用保険加入をしている者のみ就労可能としていますので、確認をしてください。**

《下請負人に関する事項》

会社名	株式会社○○建設	代表者名	筑西 一郎
住所 電話番号	〒○○○-×××× 茨城県○○市××-×× TEL ○○○○-××-○○○○		
工事名称 工事内容	○×○×工事 型枠組立解体工事		
工期	自至 ○○年○○月○○日 ○○年○○月○○日	契約日	○○年○○月○○日

建設業の許可	許可業種	許可番号	許可(更新)年月日
	大工 工事業 知事 特定	第○○○○号	○○年○○月○○日
		第	号

健康保険等の加入状況	保険加入の有無	健康保険		厚生年金保険		雇用保険	
		加入	加入	加入	加入	加入	加入
事業所整理記号等	営業所の名称	健康保険		厚生年金保険		雇用保険	
		株式会社○○建設 本店	○○○○	○○○○	○○○○	○○○○	

現場代理人名	筑西 次郎
権限及び意見申出方法	契約書記載のとおり
主任技術者名	非専任 筑西 次郎
資格内容	一級建築施工管理技士

安全衛生責任者	筑西 三郎
安全衛生推進者	筑西 四郎
雇用管理責任者	筑西 一郎
専門技術者名	
資格内容	
担当工事内容	

外国人建設就労者の従事状況(有無)	有 ・ 無
外国人技能実習生の従事状況(有無)	有 ・ 無

[主任技術者、専門技術者の記入要領]

- 主任技術者の配属状況について[専任・非専任]のいずれかを明記してください。
 - 専門技術者には、土木・建築一式工事を施工する主任技術者が専門工場の主任技術者として複数に任命されている場合は、主任技術者が専門工場の主任技術者のために複数の専門技術者を施工するために複数の専門技術者の資格内容(該当するものを選択)
 - 経験年数による場合
 - 大学卒 [指定学科] : 3年以上の実務経験
 - 資格等による場合
 - 建築業法: 「技術検定」。
 - 建築士
 - 電気事業法: 「電気主任技術者国家試験」
1. 保険加入の有無
各保険の適用を受ける営業所について届出を一部に行っていない場合を含むは「法人は従業員の数に関わらず健康保険、厚生雇用保険は労働者を1人でも雇用していれば」
2. 事業所整理記号等
事業所整理記号及び事業所番号(健康保険組一括適用の承認に係る営業所の場合は、主たる)
- [外国人技能実習生及び外国人建設就労者の従事状況] 建設業法施行規則等の一部を改正する政令により平成27年4月1日以降外国人技能実習生及び外国人建設就労者の従事状況の有無の記載が必要(再下請通知書にも記載が必要)

監督員とは二次下請以降がある場合の、二次下請業者への指示・協議を行なう権限が与えられた者を指します(職長も可)

現場代理人とは現場責任者となりますので、職長となります

主任技術者とは分担している施工分野に必要な資格を有する技術者となります。(下請負金額3500万円未満「非常駐」、3500万円以上「常駐」)

安全衛生責任者とは統括安全衛生責任者及び下位の安全衛生責任者との連絡調整等を行なう者となりますので、職長となります。

安全衛生推進者とは常時雇用従業員が10人から50人未満の事業所で、労務管理を担当する者となります。

雇用管理者とは雇用に関する全般を管理する者となりますので、代表者もしくは総務・経理の担当者となります。

専門技術者とは土木工事一式を請け負った場合で、土木以外の専門技術者が必要な分野(建築・機械・電気等)の工事内容があるの有資格者となります。

記入例

再下請負通知書
建築業法・雇用改善法等に基づく届出書(変更届)

直近上位の注文者名
一次下請の場合 元請(株)小葉建設
二次下請の場合 一次下請業者名
三次下請の場合 二次下請業者名

下請負業者がいる場合は、下請負業者ごとに必ず直近上位業者に対して再下請負通知書を提出する。

直近上位の注文者名 株式会社 小葉建設
【報告下請負業者】
住所 〒 〇〇〇-×××× 茨城県〇〇市××-×
TEL 〇〇〇〇-××-〇〇〇〇
FAX 〇〇〇〇-××-〇〇〇〇
元請名称 株式会社 小葉建設
会社名 株式会社〇〇建設
代表者名 筑西 一郎

正確に書かれているか

社印

《再下請負人関係》再下請負業者及び再下請負人関係について次のとおり報告いたします。

Table with columns: 会社名, 住所電話番号, 工事名称工事内容, 工期, 代表者名, 契約日. Includes details for (株) ××工務店.

《自社に関する事項》
工事名称 〇×〇×工事
工事内容 〇×〇×工事の内型枠組立解体工事
工期 自 〇〇年〇〇月〇〇日 至 〇〇年〇〇月〇〇日
契約日 〇〇年〇〇月〇〇日

期限が切れていないか

Table with columns: 建設業の許可, 許可業種, 許可番号, 許可(更新)年月日. Includes details for 大工 工事業.

Table with columns: 建設業の許可, 許可業種, 許可番号, 許可(更新)年月日. Includes details for 大工 工事業.

Table with columns: 健康保険等の加入状況, 保険加入の有無, 健康保険, 厚生年金保険, 雇用保険. Includes details for 株式会社〇〇建設 本店.

Table with columns: 健康保険等の加入状況, 保険加入の有無, 健康保険, 厚生年金保険, 雇用保険. Includes details for (株) ××工務店本店.

Table with columns: 監督員名, 権限及び意見申出方法, 現場代理人名, 主任技術者名, 資格内容. Includes details for 筑西 一郎 and 筑西 次郎.

Table with columns: 安全衛生責任者, 安全衛生推進者, 雇用管理責任者, 専門技術者名, 資格内容. Includes details for 筑西 三郎, 筑西 四郎, and 筑西 一郎.

空白欄が無い、全て記入されているか

Table with columns: 現場代理人名, 権限及び意見申出方法, 主任技術者名, 資格内容, 外国人建設就労者の従事状況. Includes details for 結城 次郎.

Table with columns: 安全衛生責任者, 安全衛生推進者, 雇用管理責任者, 専門技術者名, 資格内容. Includes details for 結城 三郎 and 結城 太郎.

Table with columns: 外国人建設就労者の従事状況(有無). Includes a circled '有'.

Table with columns: 外国人技能実習生の従事状況(有無). Includes a circled '有'.

〔主任技術者、専門技術者の記入要領〕

- 1. 主任技術者の配属状況について〔専任・非専任〕のいずれかを明記すること
2. 専門技術者には、土木・建築一式工事の主任技術者が専ら複数の専門工事を施工する
3. 主任技術者の資格内容(該①経験年数による場合 1)大学卒〔指定学科〕: 3 ②資格等による場合 1)建築業法: 「技術検定」 5)電気事業法: 「電気主任

監督員とは二次下請以降がある場合の、二次下請業者への指示・協議を行なう権限が与えられた者を指します(職長も可)
現場代理人とは現場責任者となりますので、職長となります
主任技術者とは分担している施工分野に必要な資格を有する技術者となります。(下請負金額3500万円未満「非常駐」、3500万円以上「常駐」)
安全衛生責任者とは統括安全衛生責任者及び下位の安全衛生責任者との連絡調整等を行なう者となりますので、職長となります。
安全衛生推進者とは常時雇用従業員が10人から50人未満の事業所で、労務管理を担当する者となります。
雇用管理者とは雇用に関する全般を管理する者となりますので、代表者もしくは総務・経理の担当者となります。
専門技術者とは土木工事一式を請け負った場合で、土木以外の専門技術者が必要な分野(建築・機械・電気等)の工事内容があるの有資格者となります。

- (記入要領) 1. この様式は元請が作成し、一次下請負業者を通じて報告される再下請負通知書(様式第1号一甲)を添付することにより、一次下請負業者別の施工台帳として利用する。
2. 上記の記載事項が発注者との請負契約書や、下請負契約書に記載ある場合は、その写しを添付することにより記載を省略することができる。
3. 監理技術者の配置状況について
4. 専門技術者には、土木・建築記載する。(当社は専門工記載する。
5. 監理技術者及び専門技術者
①資格を証するものの写し
②自社従業員である証明書類

外国人建設就労者とは技能実習を終えた外国人が改めて日本で建設作業員として従事する者となります。
外国人技能実習生とは技能・技術等の開発途上国への移転等を目的に企業単独型(イ)及び団体監理型(ロ)の2種類の受入れ形態に分かれています。
上記に該当しない外国人労働者についてはこの用紙に記入する必要はありません。
*外国人を当社現場で就労させる場合、雇用保険加入をしている者のみ就労可能としていますので、確認をしてください。

〔外国人技能実習生及び外国人建設就労者の従事状況〕建設業法施行規則等の一部を改正する政令により平成27年4月1日以降外国人技能実習生及び外国人建設就労者の従事状況の有無の記載が必要(再下請通知書にも記載が必要)

記入例

外国人建設就労者建設現場入場届出書

日付は必ず記入

現場代理人名

安全 一郎 殿

20XX年XX月XX日

会社名 株式会社〇〇建設

代表者名 筑西 一郎

外国人建設就労者の建設現場への入場について下記のとおり届出ます。

記

1 建設工事に関する事項

建設工事の名称	〇×〇×工事
施工場所	茨城県〇〇市××-×

2 建設現場への入場を届け出る外国人建設就労者に関する事項

※4名以上の入場を申請する場合、必要に応じて欄の追加や別紙とする等対応すること。

	外国人建設就労者1	外国人建設就労者2	外国人建設就労者3
氏名	〇〇 ××	□□ 〇〇	
生年月日	19XX年〇〇月〇〇日	19XX年△△月〇〇日	
性別	男	男	
国籍	中国	ベトナム	
従事させる業務	型枠工事	型枠工事	
現場入場の期間	20XX年〇〇月〇〇日～ 20XX年〇〇月〇〇日	20XX年〇〇月〇〇日～ 20XX年〇〇月〇〇日	
在留期間満了日	20XX年〇〇月〇〇日	20XX年〇〇月〇〇日	

3 受入建設企業・適正監理計画に関する事項

自社の住所を記入する。

適正監理計画認定番号	B00×××		
受入建設企業の所在地	茨城県〇〇市××-×		
元請企業との関係 (直近上位の企業名その他)	【一次下請】(株)〇〇建設		
責任者	役職 代表取締役	氏名	筑西 一郎
管理指導員	役職 工事部長	氏名	筑西 二郎
就労場所	関東地方		
従事させる業務の内容	型枠工事		
従事させる期間(計画期間)	20XX年〇〇月〇〇日～20XX年〇〇月〇〇日		

○添付書類

提出にあたっては下記に該当するものの写し各1部を添付する。

- 適正監理計画認定証
- パスポート(国籍・氏名等と在留許可のある部分)
- 在留カード又は外国人登録証明書
- 受入建設企業と外国人建設就労者との間の雇用契約書及び雇用条件書(労働条件通知書)

自社が何次請けであるか上位の企業からの流れをここへ記入する。自社の下請がある場合は、その下請会社の名前も記入する。

記入例

持込み機械等 (電気工具等) 使用届

日付は必ず記入

日付は必ず記入

20XX年XX月XX日

事業所の名称 ○×○×工事

持込会社名 株式会社○○建設

所長 安全 一郎 殿

代表者名 筑西 一郎 社印

電話 ○○○○-××-○○○○

このたび、下記機械などを裏面の点検表により、点検整備の上持込・使用しますので、お届けします。
なお、使用に際しては、関係法令に定められた事項を遵守します。

電気機器は電圧も記入する

記 提出会社の管理番号を記入する

Table with columns: 番号, 機械名, 規格・性能, 管理番号, 点検者, 持込年月日, 使用期間(年月日), 取扱者. Includes a note about 100V and 200V equipment requirements.

上記の持込機械等使用届を受理します。

受理年月日 年 月 日

Table with columns: 番号, 受理 No., 受理証確認欄, 備考. Rows 1-8.

Table with columns: 所長, 担当. Includes '印' (stamp) markers.

持込時の点検表

Large table for inspection items (電動工具・電気溶接機等) and equipment names (機械名). Includes checkboxes and numerical values for various safety and performance checks.

- (注) 1. 持込機械等の届出は、当該機械を持込む会社（貸与を受けた会社が下請の場合はその会社）の代表者が所長に届け出ること。
2. 点検表の点検結果欄には、該当する箇所へV印を記入すること。
3. 絶縁抵抗測定値については、実測値（M）を記入すること。
4. 持込機械届受理証を持込機械に貼付すること。

記入例

下請負業者編成表

日付は必ず記入

(一次下請業者=作成下請負業者)

型 枠	会社名	株式会社〇〇建設
	安全衛生責任者	筑西 三郎
	主任技術者	筑西 次郎
	専門技術者	
工 事	担当工事内容	〇×〇×工事の内型枠組立解体工事
	工期	〇〇年〇〇月〇〇日 ~ 〇〇年〇〇月〇〇日

自社に関する全ての協力業者が分かるように、工事内容、下請負業者名、安全衛生責任者名、主任技術者名、工期等を記載する。

(二次下請負業者)

(二次下請負業者)

(二次下請負業者)

型 枠 解 体	会社名	株式会社××工務店
	安全衛生責任者	結城 三郎
	主任技術者	結城 次郎
	専門技術者	
工 事	担当工事内容	型枠解体工事
	工期	△△年△△月△△日 ~ △△年△△月△△日

	会社名	
	安全衛生責任者	
	主任技術者	
	専門技術者	
工 事	担当工事内容	
	工期	~

	会社名	
	安全衛生責任者	
	主任技術者	
	専門技術者	
工 事	担当工事内容	
	工期	~

(三次下請負業者)

	会社名	
	安全衛生責任者	
	主任技術者	
	専門技術者	
工 事	担当工事内容	
	工期	~

	会社名	
	安全衛生責任者	
	主任技術者	
	専門技術者	
工 事	担当工事内容	
	工期	~

	会社名	
	安全衛生責任者	
	主任技術者	
	専門技術者	
工 事	担当工事内容	
	工期	~

- ① 下請負人が請け負った建設工事の具体的内容を記入する。
- ② 下請負人の商号名称を記入する。
- ③ 下請負人が置いた安全衛生責任者の氏名を記入する。
- ④ 下請負人が置いた主任技術者の氏名を記入する。
*下請契約額が500万円未満で、建設業許可を有していない場合は記載不要です(斜線で消す)
- ⑤ 下請負人が置いた専門技術者の氏名を記入する。
- ⑥ 下請負人が置いた専門技術者の担当する工事内容を記入する。
- ⑦ 下請負人が請け負った建設工事の契約書に記載された工期を記入する。

(四次下請負業者)

(四次下請負業者)

(四次下請負業者)

	会社名	
	安全衛生責任者	
	主任技術者	
	専門技術者	
工 事	担当工事内容	
	工期	~

	会社名	
	安全衛生責任者	
	主任技術者	
	専門技術者	
工 事	担当工事内容	
	工期	~

	会社名	
	安全衛生責任者	
	主任技術者	
	専門技術者	
工 事	担当工事内容	
	工期	~

- (記入要領)
1. 一次下請負業者は、二次下請負業者以下の業者から提出された「届出書」(様式第1号-甲)に基づいて本表を作成の上、元請に届出ること。
 2. この下請負業者編成表でまとめきれない場合は、本業式をコピーするなどして適宜使用すること。

記入例

小築建設の現場名と工事責任者名を記入

作業員名簿

20XX年XX月XX日

日付は必ず記入

事業所の名称 ○×○×工事

所長名 安全 一郎

1の作業所に安全衛生責任者は1業者につき1名必要です。職長は複数名いても問題ありません。

健康保険等加入状況、空欄が無いことを確認

会社名 株式会社○○建設

社印

Table with 15 columns: 番号, フリガナ氏名, 職種, ※, 雇入年月日, 生年月日, 現住所, TEL, 家族連絡先, 最新の健康診断日, 血液型, 特殊健康診断日, 健康保険, 教育・資格・免許, 入場年月日, 労働者一人親方中小事業主確認, 労災保険特別加入有無. Rows include workers like 筑西 次郎, 筑西 三郎, etc.

健康診断の血圧測定結果を記入する。血圧に異常がある場合は、①医師の所見 ②治療の有無 ③服薬の状態 ④新規入場時の測定血圧等を記入する。医師の所見により就業制限がある場合は、別紙就業制限者等報告書で報告する

一般健康診断は、1年に1回 特殊健康診断は診断内容によって異なります。

小築建設の担当者が確認して記載する。

免許、技能講習、特別教育関係の取得済み該当する資格を全て記載する。

特別労災保険に加入していない一人親方・中小事業主は現場に入場できません。

(注)

- 1. ※印欄には、次の記号を選択する。 職……職長 主……作業主任者（止副2名専任すること） 女……女性作業員 未……18才未満の者 基……基幹技能者 技……主任技術者 職……職長 安……安全衛生責任者 能……能力向上教育 再……危険有害業務・再発防止教育 習……外国人技能実習生 就……外国人建設就労者 2. 経験年数は現在担当している仕事の経験年数を記入する。 3. 各社別に作成するのが原則ですが、リース機械等の運転者は一緒でも良い。 4. 資格・運転免許等の写しを添付すること。 5. 労働者・一人親方・中小事業主と、労災保険特別加入の有無を選択する 6. 健康保険は左欄に名称（健康保険組合、協会健保、国民健康保険）、右欄に保険証の番号下4桁を記載。後期高齢者等であること等により国民健康保険適用除外である場合は適用除外と記載。 7. 年金保険は左欄に名称（厚生年金、国民年金等）を記載。年金受給者の場合は「受給者」と記載。 8. 雇用保険は右欄に被保険者番号の下4桁を記載（日雇労働被保険者の場合は左欄に「日雇保険」）。事業主等である等により雇用保険の適用除外である場合には「適用除外」と記載。

記入例

日付は必ず記入

持込機械等 (移動式クレーン等) 使用届

機械持込会社 株式会社〇〇建設

代表者名 筑西 一郎 社印

事業所の名称 〇×〇×工事 持込会社名 株式会社〇〇建設
所長 安全 一郎 殿 代表者名 筑西 一郎 社印
電話 〇〇〇〇-××-〇〇〇〇

小葉建設の現場名と工事責任者名を記入

このたび、下記機械などを裏面の点検表により、点検整備の上持込・使用しますので、お届けします。
なお、使用に際しては、関係法令に定められた事項を遵守します。

移動式クレーンの場合最大吊り上げ荷重、作業半径を記入

持込会社の管理番号を記入する

Table with columns: 名称, メーカー, 性能(能力), 製造年, 管理番号, 持込年月日, 使用期間, 運転者(取扱者), 自主検査の有効期限, 任意保険, 機械等の特性・その他

上記の持込機械等使用届を受理します。 受理年月日 年 月 日 受理No. _____

Table with columns: 所長, 担当, 受理証確認者, 年 月 日

持込時の点検表

点検 20XX年XX月XX日

Main inspection table with columns: 移動式クレーン等, 点検事項, 点検結果 (a, b), 各種ロック, 安全装置, 作業装置, その他, 走行部, 安全装置等, ゴンドラ, 機械名 (1-45)

日付は必ず記入

右側記載「1~42」の持込機械1台につき1枚とする。〇×で記入する

点検結果の a. は、機械所有会社の確認欄とし、b. は持込会社又は機械使用会社の確認欄です。元請が確認するときはbの欄に記入する。

- (注) 1. 持込機械等の届出は、当該機械を持込会社(貸与を受けた会社が下請の場合はその会社)の代表者が所長に届け出ること。
2. 点検表の点検結果欄には、該当する箇所へ✓印を記入すること。
3. 機械名1から6まではA、B欄を、7はC欄を、8から38まではD、E、F、G欄を、39から43まではB欄を、44はB、D、E欄を使用して点検すること。
4. 点検結果のa欄は、機械所有会社の確認欄とし、b欄は持込会社または機械使用会社の確認欄とする。元請が確認するときは、b欄を利用すること。
5. 定期自主
6. 持込機械届受理証を持込機械に貼付すること。

記入例

元請
確認欄

20XX年XX月XX日

工 事 用 車 輛 届

日付は必ず記入

事業所の名称 ○×○×工事

所 長 名 安全 一郎 殿

会 社 名 株式会社○×建設

現場代理人
(現場責任者) 筑西 次郎社
印

貴社の ○×○×工事 を施工するにあたり、下記の通りの車輛を
運行しますので、お届けいたします。

使用期間	自 20XX 年 〇〇 月 〇〇 日		～	至 20XX 年 〇〇 月 〇〇 日				
所有者氏名	社有車		安全運転管理者氏名	茨城 太郎				
車 型 式	小型トラック (2t)		車 輛 番 号	つくば 〇〇 〇〇-××				
車 検 期 間	自 20XX 年 〇〇 月 〇〇 日		～	至 20XX 年 〇〇 月 〇〇 日				
運 氏 名	茨城 次郎		生 年 月 日	19XX 年 〇〇 月 〇〇 日生				
転 住 所	茨城県〇〇市××-							
手 免 許 の 種 類	普通運転免許		免 許 番 号	○×○×				
自 賠 責 保 險 会 社 名	(株) ××保険		証 券 番 号	第 〇-〇×〇× 号				
保 險 期 間	自 20XX 年 〇〇 月 〇〇 日		～	至 20XX 年 〇〇 月 〇〇 日				
任 意 保 險 保 險 会 社 名	〇〇保険 (株)		証 券 番 号	第 〇×〇× 号				
対 人	10,000 万円		対 物	300 万円	搭 乗 者	1,000 万円		
保 險 期 間	自 20XX 年 〇〇 月 〇〇 日		～	至 20XX 年 〇〇 月 〇〇 日				
運 行 経 路	自 自宅		～	經由 会社	～	經由 ○×○×工事業所	～	至

- (注) 1. この届出書は車輛1台ごとに記入すること。
2. この届出書に「任意保険」の証書(写し)を添付し提出すること。
3. マイクロバス等についても記載すること。
4. 運転者が変わった場合はその都度届出ること。

記入例

元請
確認欄

20XX年XX月XX日

危険物・有害物持込使用届

日付は必ず記入

事業所の名称 ○×○×工事

所長名 安全 一郎 殿

会社名 株式会社○○建設

現場代理人
(現場責任者) 筑西 次郎社
印

このたび、下記の危険物・有害物を持込み使用するのでお届けします。なお、使用に際しては、関係法規に定められた事項を遵守するとともに盗難防止にも努めます。

使用材料	商品名	メーカー名	搬入量	種類	含有成分
	ビニボン100	関西ペイント	30 k g	塩ビ塗料	トルエン・キシレン
	同上シンナー	関西ペイント	30 k g	シンナー	トルエン・キシレン
	個本PR塗料液	日本ペイント	20 k g	エポキシ塗料	トルエン・MIBK
工事名称及び 使用場所	(災害又は健康霜害の発生しやすい場所は必ず記入する) 倉庫 (B1F) 及び (1F) 塗装工事				
保管場所	B1F 塗料仮置き場		使用機械 又は工具	ハケ塗り又はローラー塗り	
使用期間	自 20XX 年 〇〇 月 〇〇 日 ~ 至 20XX 年 〇〇 月 〇〇 日 (予定)				
作業主任者					
危険物取扱責任者	(主なものを記入する。詳細は別に計画書を作成する) 筑西 三郎				
換気方法・種類	塗装作業開始から乾燥するまで、送風機にて排気します。(エポキシ塗料の場合)				
備考	(防毒マスクなどの使用又は他の職種に関係ある事項などを記入する)				

- (注) 1. 商品名、種別含有成分等は材料に添付されているラベル成分表等から写し、記入して下さい。
2. 危険物とは軽油、灯油、プロパン、アセチレンガスなどをいう。
3. 有害物とは、塗装、防水などに使用する有機溶剤、特定化学物質などをいう。

記入例

元請
確認欄

20XX年XX月XX日

火気使用申請書

日付は必ず記入

事業所の名称 ○×○×工事

所長名 安全 一郎 殿

会社名 株式会社○○建設

現場代理人
(現場責任者) 筑西 次郎社
印

印

下記の要領で火気を使用いたしたくご許可願います。

なお、火気使用の終了時には、必ずその旨ご報告いたします。

使用場所	屋上の手摺り取付け		
使用目的	工事	溶接、溶断、圧接、防水、乾燥、	使用日時 8時30分～17時00分
	日常	採暖、湯沸、炊事、その他()	使用期間 ○○月○○日～○○月○○日
火気の種類	電気、ガス、灯油、重油、木炭、薪、その他()		
管理方法	消火器、防火用水、消火砂、防災シート、受皿、標識、監視、 取扱上の注意()		
火元責任者	筑西 三郎		
火気使用責任者	筑西 四郎		

※ 使用目的、火気の種類、管理方法は該当事項を○で囲んで下さい。

小築建設の担当者が確認して記載する。

許可第 号	(許可年月日)	年 月 日
火気使用許可	防火管理者	印
	担当係員	印
許可条件		

記入例

元請
確認欄

20XX年XX月XX日

雇入時等教育実施報告書

日付は必ず記入

事業所の名称 ○×○×工事

所長名 安全 一郎 殿

会社名 株式会社○○建設

現場代理人
(現場責任者) 筑西 次郎社
印

印

項目	摘要
教育の種類	雇入時 ・ 新規入場時 ・ 作業変更時
実施日時	20XX年〇〇月〇〇日 8時00分～9時00分 (1時間)
実施場所	自社の事務所会議室
教育方法	講義、スライド
教育内容	1. 作業所の概要と規則について 2. 保護具の使用について 3. 機械の取扱い及び点検について 4. 作業内容について 5. 緊急時の連絡、応急処置について
講師	株式会社○○建設 安全衛生推進者 筑西四郎
受講者氏名 (受講者に氏名を 直筆させること)	筑西 五郎 筑西 六郎 筑西 七郎
資料	新規入場者の安全管理の手引き スライド「安全帯をしよう！」

※ 教育の種類は該当事項を○で囲んで下さい。